

広報

ただみ

5
2019 月号
No. 588
令和元年5月10日



今月の表紙

今年も町内の各学校で入学式（4月8日）が行われ、新入生の皆さんが新たな学校生活をスタートさせました。

只見中学校入学式では、新入生代表の長谷部千夏さんが、明るい笑顔を交えながら、誓いの言葉として中学校生活における抱負や目標などを述べました。

（関連記事：P 4～5）

《特集》

町制施行60周年記念事業の紹介… 2～3

町内の各学校で入学式…………… 4～5

《News&flash》…………… 6～7

《町の話》…………… 8～9



令和元年は、只見町の町制施行60周年です

『つつなごう未来へ ユネスコエコパークの町』

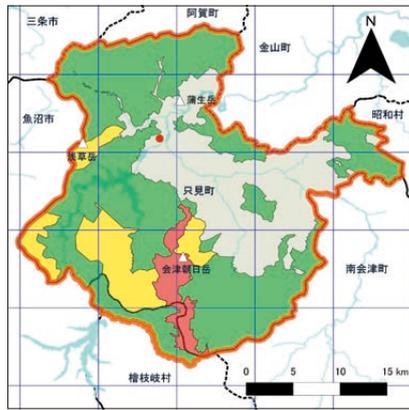
町制施行60周年記念事業



▲左上：小林神楽、左下：黒谷のフクジュソウ、中上：ブナの天然林、中下：ゼンマイ折り、右：春の浅草岳

ユネスコエコパークとは？
国際的に認定を受けた「人間社会と自然環境の共生を実践するモデル地域」。

認定されている地域は？
国内では9ヶ所が登録済で、只見地域は平成26年6月12日に登録。東北地方では唯一、認定を受けている。



▲町全域（+檜枝岐村の一部）がエコパーク対象となる（オレンジ太線で囲まれた部分）

『自然首都・只見』

「豊かな自然」要素を盛り込んだテーマに

記念事業の顔となるテーマには、「ユネスコエコパーク」や「自然首都・只見」など本町の代名詞である「豊かな自然」要素が盛り込まれていきます。特に平成26年のユネスコエコパーク登録は、60年間の中でも非常に大きな出来事であり、本町の自然と人間の共生関係が世界的に認められた瞬間でもありました。そうした素晴らしい環境を全国に発信していく、そして後世につないでいくことを目的として本テーマが設定されました。

こうしたテーマ設定や事業の企画、選定にあたっては、町民の皆さんからいただいた様々な意見・提案を反映する

ため、町内各団体と町職員によって組織された「町制施行60周年記念事業企画運営委員会」を中心に議論が進められました。

只見町は、昭和34年8月1日に町制を施行して以来、令和元年をもって満60年を迎えます。本号では、町民の皆さんと一緒に祝いができるよう、式典や記念事業などの内容についてご紹介いたします。



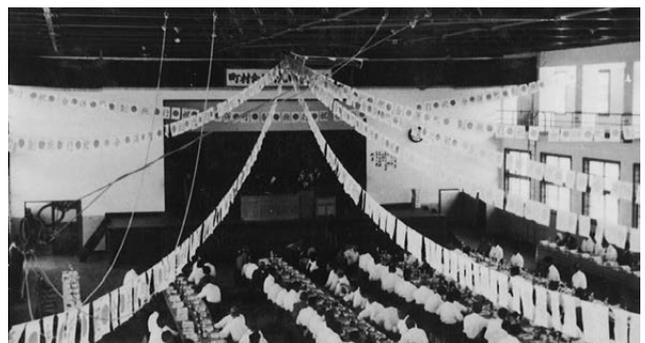
▲昨年度開催された企画運営委員会の様子

町制施行60周年記念事業実施内容

事業名	内容	実施時期
1. 記念式典 記念式典並びに町表彰式	60周年を祝う記念式典と併せて町表彰式を開催。	令和元年8月1日(水) 季の郷湯ら里
2. 記念行事等 ①「自然首都・只見」及び「ユネスコエコパーク」情報発信記念講演会	新潟大学佐渡自然共生科学センター長(教授)崎尾均氏による只見ユネスコエコパークの魅力など、町民向けの記念講演会を開催。	令和元年11月予定
②文化講演会	幅広い年代層を対象とした地域活性化の一助となる講演会を開催。	令和元年度中
③子ども議員による「子ども議会」	町内小中学校の児童生徒から子ども議員を選出し模擬議会を開催。	令和元年度中
④安全・安心なまちづくり	60周年を防災元年と位置付け、災害に強いまちづくりへの第一歩とするための全町で防災訓練を実施。	令和元年8月予定
⑤柏市立柏高校吹奏楽部演奏会	ふるさと交流都市である千葉県柏市の6年連続全国1位の實力を持つ市立柏高等学校吹奏楽部を招聘し、演奏会を実施。	令和元年7月20日(土) 会場調整中(町内)
⑥食のイベント	60周年は人に擬えれば還暦の祝いであることから、伝統食である「祝い膳」等の食のイベントを実施。	令和元年度中
⑦町民からのイベント公募	①記念植樹・育樹事業(植樹・育樹を行っていただける集落に、希望される品種を配布)	令和元年度中
	②人文字(運動会等でドローンで撮影し、記念誌に掲載)	令和元年度中
	③秋まつり(うまいもんまつり)での記念花火打ち上げ。	令和元年度10月予定
3. 記念誌発行 町制施行60周年記念誌発行	①「只見おもしろ学ガイドブック(一部改訂版)」発行(全戸配布)。 ②ガイドブック別冊となる記念誌発行(全戸配布)。	令和元年度中
4. 関連行事等	敬老会・町文化祭・只見ふるさとの雪まつり・その他関連行事各種催し等に「只見町町制施行60周年記念事業」の冠名をつけて開催。	



▲全国屈指の強豪校である柏高校吹奏楽部



▲昭和34年8月1日の町村合併祝賀会



▲町制施行20～50周年時に発行された記念誌

★記念講演会 講師プロフィール

さき お ひとし
崎尾 均 氏

新潟大学佐渡自然共生科学センター長(教授)、博士(理学)、只見ユネスコエコパーク支援委員会委員長。本町では、伊南川のヤナギ林の更新や沼ノ平総合学術調査を実施。大阪市出身、静岡大学卒。

ご入学おめでとうございます



今年度も小・中・高等学校で入学式が行われ、町内全体で89名の児童・生徒が新たに学校生活をスタートさせました。

新生活に不安はつきものですが、各学校で過ごす時間は、入学生の皆さんにとってかけがえのない財産になることでしょう。

今年度入学された各学校の皆さんを写真で紹介します。



▲米畑校長から教科書を手渡される
新入生代表の五十嵐琴音さん（朝日小学校）

只見 小学校

新入児童 3名

全校児童 50名



朝日 小学校

新入児童 6名

全校児童 44名





明和 小学校

新入児童 5名
全校児童 56名

只見 中学校

新入生 41名
全校生 97名



只見 高校

新入生 34名
(うち山村留学生12名)
全校生 116名

全国表彰を受賞!

農業農村整備優良地区コンクール

3月26日、平成30年度農業農村整備優良地区コンクール（主催…全国水土里ネット）において、只見町土地改良区（中朝日地区）が農業振興部門の全国水土里ネット会長賞を受賞しました。これは、農業活動などにおいて、優れた成果を上げている地域が選ばれ表彰されるもので、30年度は町土地改良区が県内唯一の受賞となりました。今回は、中朝日地区で効率的な営農を実現して生産コストの削減に成功した点や、南郷トマトの栽培、もち米を使った6次産業化の推進などが高く評価されており、今後の更なる取り組みが期待されています。



▲東京都内で開催された表彰式に出席した皆さん

新体制でエコパークを推進

新ブナセンター長などに就任

4月、ブナセンター長へ齋藤修一さん（前只見町教育長）、ブナセンター館長へ紙谷智彦さん（新潟大学名誉教授）、只見ユネスコエコパーク推進専門監に中岡茂さん（元林野庁職員）が就任されました。

ブナセンター長はユネスコエコパーク推進の中心的役割を担い、館長はセンターの付属施設である「ただみ・ブナと川のミュージアム」と「ふるさと館田子倉」の管理・運営、推進専門監はエコパーク推進に向けた専門的な助言や提言を行う役割となっており、今年度より新体制で活動していきます。



▲就任した齋藤修一さん(中右)、紙谷智彦さん(左)、中岡茂さん(右)

山村教育留学生第18期生

新たな仲間との対面

4月8日、只見振興センターで県内外から只見高校へ進学する山村教育留学生第18期生12名の対面式が行われ、留学生や保護者、各関係者が出席しました。各留学生の自己紹介では「只見高校で甲子園出場を目標に野球を頑張りたい」、「地域のイベントに積極的に参加したい」などと学生生活における目標や意気込みが発表されました。式の間緊張した面持ちだった留学生の皆さんは、閉会式後にはすっかり打ち解けた様子で、これからの学校生活を共にする新たな仲間との交流を楽しんでいます。



▲出席した留学生の皆さん

滞納ゼロに向けて

只見町納税貯蓄組合連合会総会

4月15日、只見振興センターで「平成31年度只見町納税貯蓄組合連合会総会」が開催され、各地区の組合長などが出席しました。

総会の中で行なわれた町納税貯蓄組合連合会長表彰では、上福井第一納税貯蓄組合長の小沼万夫さんが20年間、大倉広田面納税貯蓄組合長の梁取静枝さんが10年間に渡り納税活動に尽力されたことが称えられ、栗木会長から表彰状などが手渡されました。小沼さんは「納税は国民の義務と認識している。これからも地区の納税活動に尽力していきたい。」と謝辞を述べられました。



▲栗木会長から表彰を受ける小沼さん

完成を見据え関係機関が協議
八十里越道路暫定的活用検討懇談会

4月18日、国道289号八十里越道路の完成を見据え、通り抜け事業などの暫定的な道路活用について協議する「第9回八十里越道路暫定的活用検討懇談会」が三条市の諸橋轍次記念館で開催され、只見町と三条市、国や県の機関などが参加しました。

懇談会では、長岡国道事務所からの道路工事進捗状況における説明（進捗率は約81%）や新潟テレビ21報道制作局による「八十里越、未来へのメッセージ」と題した講演が行われた後、今年度予定されている通り抜け事業についての協議が行われ、事業8案が承認されました。



▲只見町と三条市をはじめ、10団体程の関係機関が参加した

戊辰151年目の誘客を図る
河井継之助記念館が再オープン

4月20日、戊辰戦争を長岡藩家老として戦い、只見の地で没した河井継之助ゆかりの物を中心に展示する同記念館が今年度のオープンを迎えました。戊辰150周年を迎えた昨年は、町内でも多くのイベントや企画が行われ盛り上がりを見せましたが、今年も引き続き、関連する企画展などの開催が予定されています。4月末からは、今年最初の企画展「幕末・只見の民具展」が開催されており、継之助が生きた時代の民具や生活の様子などについて見学することができます。

● 開館時間 10時～16時（木曜休館）、入館料 300円（小人150円）
☎ 024118212870



▲幕末当時の民具などが展示されている

今年度の重点事業を報告
町政報告会を開催

4月25日、当年度の重点事業などを中心に、町から区長へと報告が行われる町政報告会が季の郷湯ら里で開催され、町関係者と各区長が出席しました。

報告会では、今年度の重点事業として、町制施行60周年記念事業の内容や町政座談会の開催について、農林建設関係（農業振興、克雪対策、公共事業）の補助制度、道の駅整備に関する基本構想などが町担当課より説明された後、各区長から事業に対する質問が挙げられ、活発な意見交換が行われました。



▲町関係者と各区長の40名程が出席した

大型連休前に再開通
国道252号線再開通記念式典

4月25日午後1時に国道252号線六十里越雪割り街道が再開通し、4月27日には歳時記念館駐車場で記念式典が行われました。同式典は、例年、再開通に合わせて只見町・魚沼市で交互に開催されており、当日は多くの関係者が出席しました。

式典では、菅家町長が「この路線は周辺市町村の人々の生活に密接に関わるものであり、早期の再開通に意義がある」と挨拶し、来賓として出席された増子輝彦参議院議員が「当地域の雪は貴重な地域資源であり、今後、外国人観光客の増加も期待できる」と祝辞を述べられました。



▲関係者によるテープカットで式典が締めくくられた

お友達をいっぱい作ろうね 町内各保育所で入所式

4月5日、各保育所で新入所児の入所式が行われました。朝日保育所の入所式では、入所児全員が紹介され、名前を呼ばれた児童たちは元気に返事をしていました。式の後半には、先生たちが演劇を行い、保育所のルールやどんなことをみんなと頑張りたいか児童の皆さんに楽しく、そしてわかりやすく伝えました。

●今年度の児童数 只見保育所：21名
朝日保育所：35名
明和保育所：37名



▲先生の話聞く児童たち（朝日保育所）

柏市で只見町の魅力を発信

2019チューリップフェスティバルに参加



▲ブース形式で町の魅力を発信

4月13日～14日、只見町とふるさと交流都市を締結する千葉県柏市の「あけぼの山農業公園」で「2019チューリップフェスティバル」が開催され、町関係者や町内事業者が参加し、観光PRや物産販売などを行いました。このイベントは、会場に咲き誇るチューリップをはじめと



▲会場のチューリップ畑

とした美しい春の花々と様々な催しによって例年多くの人が訪れており、これからの観光シーズンに向け、来場した人たちに只見町の魅力を発信しました。

春を告げる優雅な舞を披露

第18回春待ちチャリティー演芸会

4月14日、季の郷湯ら里で「第18回春待ちチャリティー演芸会」が開催され、来場した人たちが春の訪れとともに優雅な舞を堪能しました。会場では、町の社会福祉向上を目的に募られた寄付金10万833円が主催者の赤塚ミワさんから菅家町長に手渡され、菅家町長が「町の高齢化率は高い水準となっている。寄付金を有効に活用させていただき、社会福祉の向上を図りたい。」と挨拶をしました。その後、町内外から参加した出演者の皆さんが、河井継之助をしのぶ「蒼龍追慕の歌」など全35演目を披露し、会場を大いに盛り上げました。



▲優雅な舞を披露した皆さん（蒼龍追慕の歌）



▲赤塚ミワさん(右)より寄付金
が手渡された

火の用心を徹底しましょう

町内で防火パレードを実施

4月15日、春の火災予防運動（～21日）期間に合わせて防火パレードが実施されました。パレードでは、町消防団と広域消防署只見出張所の皆さんが町内を廻り、火災が起きやすい春季における火の用心を呼びかけました。また、パレード前半には明和保育所を訪問し、広域消防署只見出張所の塩生所長が「火遊びを絶対にしないこと」などを児童の皆さんと約束しました。約束の後は、大きな声で返事をしながらしっかりと話を聞くことができた皆さんに、三瓶一也副団長より折り紙のプレゼントが渡されました。



▲代表してプレゼントを受け取る児童（明和保育所）

美しい音色が響き渡る

会津只見考古館再オープン記念 バンドネオン演奏会



▲世界的なバンドネオン奏者小川さんの演奏に耳を傾ける皆さん

4月21日、今年度の会津只見考古館オープンを記念し（開館日は4月20日）、「ひんのめいぐべ！ ※午前中に行こうの意（小川紀美代さんによるバンドネオン演奏会）」が同館ロビーで行われました。バンドネオンは、舞曲のタンゴに使用されることが多いアコーディオンの仲間で、弾きこなすことが大変難しい楽器とされています。演奏会では、世界的なバンドネオン奏者の小川紀美代さんが、ご自身で作曲された曲やここ只見町でも朝6時に流れる「牧場の朝」などを披露し、ロビー一杯に集まった人たちは、美しく響き渡る音色を楽しんでいました。

●会津只見考古館 開館時間 9時～16時（月曜休館）
入館料 300円（高校生150円 小中学生100円）
☎ 0241-86-2175



ことば
新国 寿花さん（新町）



佐藤 大樹くん（福井）

虫歯の
ない子



（4月23日）
3歳児検診

4月から新しい看護師さんが着任しました!

4月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の柴田琴乃さんです。柴田さんは、東日本大震災発生時に被災者の方々のために奔走する看護師さんの姿をテレビで見て、自分も困っている人たちを支える仕事がしたいという想いから看護師を志したそうです。慣れない土地に来て不安を感じることも多いそうですが、只見の人たちは本当に優しく、困ったことがあるといつも助けてくれる。より地域と密接なこの診療所で多くのことを学びたい、と明るく話してくれました。



柴田 琴乃さん
(出身/会津若松市)

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「住民の皆さまの安心のために」

テレビや新聞による報道、広報ただみの記事などでご存じの方もおられると思いますが、2019年3月末で看護師さん複数名の退職があり、医師数も4名から3名に減りました。少し忙しくはなりましたが、新体制への移行も済み、落ち着いてまいりました。

看護師は少なくなりましたが、ほぼ今まで通りにできることも多いです。外来はこれまで通り平日は毎日午前・午後と診療しております。夜間・休日の診療についても、緊急性のあるものについてはお電話で相談いただいたうえで対応しております。救急車対応も休日・夜間を問わず対応いたします。できる検査のほうも内視鏡検査は週1回程度で継続しますし、その他これまで診療所で実施できていた検査などは変わりなく行えます。入

院診療については縮小を余儀なくされておりますが、訪問診療については、より利用しやすいように、費用負担の軽減や往診（定期的に訪問診療を受けている方に限り）の実施も始めております。希望される方には自宅でのお看取りについても不安なく選択してもらえよう工夫しております。訪問看護についても、定年退職をむかえたベテラン看護師の助力もあり継続できております。

朝日診療所は、住民の皆様の安心した暮らしを支えるべく、継続的な医療の提供を行います。専門的な治療はできないものもありますが、からだや心に関するあらゆる健康問題の相談に乗り、町内外の医療機関・保健福祉機関との連携の要としてあり続けたいと思います。変わりゆく社会・時代の流れに合わせ、職員一同は自己研鑽や工夫を重ねてまいります。

今後ともどうかよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊として

Vol.54

只見町山村振興協力隊

ふじぬま こうへい
藤沼 航平



「雪と冬のポテンシャル」

この冬、「本物の雪遊び体験」という題で毎週土日都会の方向けにツアーを組ませていただきました。都会の方にとって（私にとって）、只見の「雪」は本当に魅力のあるもの。住むと「雪」が嫌になるぞ。と言われ2年過ごしましたが、私の中ではますます只見の「冬」や「雪」は心をワクワクさせるものになりました。

今回の肝は2つ。只見の冬を生かし、スキー・除雪以外でお金を生み出したこと。そして、雪まつり以外で観光集客ができたこと。まだまだ本物の雪国で掘り起こせるものはあると感じられまし

た。※詳細は森林の分校ふざわ公式ホームページやFacebookに掲載

私のミッションは分校を拠点に山村のくらしを都会の皆さまに触れてもらうこと。2年目の冬にしてようやくやりたいことが少しできてきたかな？と思っております。協力隊最終年度は、既に只見には充実した夏の体験プログラムがあるので、それらを上手くつなぎ合わせることをそのための新しい取り組みを行うこと。を目標としたいと思えます。

最後に、雪遊び体験に携わっていただいた関係者の皆様、布沢集落の皆様にお礼を述べさせていただきます。引き続き閉めの文章といたします。



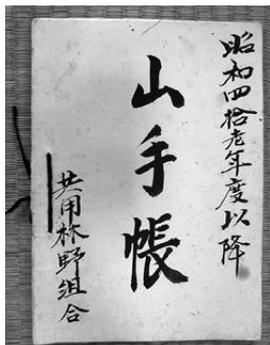
山形大学准教授
林 雅秀
はやし まさひで

コモンズと只見の共同利用資源①

― 叶津の山手帳から ―

▼今月号からは町内の集落における共有林の利用についてです。これは広報ただみ二〇一二年九月号から七回にわたり本欄で連載した「共有林はムラの財産」の続編です。コモンズという言葉がよく使われますが、バックナンパーをお読みください。

▼日本の共有林は、コモンズとして世界じゅうの参考事例となっています。今回、只見町で長年調査された林雅秀先生にくわしく執筆していただきます。



▶叶津区の山手金徴収に関する資料

私たちは二〇一二年頃から二〇一四年頃にかけて、只見町内に比較的広い林野を有する集落における過去の林野利用とそれを統制するためのルールについての調査を実施しました。具体的には叶津、黒谷、塩沢、布沢などの区長さんや公民館を訪れ、かつての共有林利用に関連する資料を許可を得て閲覧させていただきました。

今回の連載では、山菜やキノコ採取のことを「共同利用」と呼んだり、山菜・キノコ資源のことを共有資源を意味する「コモンズ」と呼んだりします。たとえばゼンマイ採集を行う奥山の大半は国有林なので、このような語法には違和感を覚えるかたもおられると思います。しかし、国有林内であっても、山菜採集のルールを決めたのは集落の総意で、土地所有者である国の意向が山菜採取活動に影響を

及ぼす余地は少なかったと思われまふ。そのため私たちは只見町の山菜資源やキノコ資源をコモンズの一つとみなしており、共同利用や共有林という表現を使います。

さて、今回は、かつて蒲生と並んでゼンマイ採集が活発に行われた叶津を取り上げます。写真は代々の叶津区長が保管している昭和四十一年の「山手帳」という資料で、資料の作成者は「共用林野組合」です。これは、国有林野法を根拠として、国有林（森林管理署）と共用者である叶津区の住民との間で共用林野設定契約を結んでいるため、叶津区は国有林野を利用する組織を共用林野組合と名付けたと考えられます。

この山手帳はゼンマイ採取を行う家々が叶津共用林野組合に納めていた「山手金」を集計するための帳簿です。ちなみに、

山手金にはかつて、ゼンマイ採集に係る「ゼンマイ山手」のほかにも、「キノコ山手」「藤山手」「竹山手」などがあり、集落共有の林野を利用したことを根拠として個人が集落に支払う料金はすべて山手金と呼ばれました。

しかし相対的に金額が大きかったのも、時代的に最後まで残ったのも、叶津ではやはりゼンマイ山手でした。

叶津の山手帳を開くと、最初に昭和四十一年のゼンマイの山手金の総額が記されています。これによると、採取量の合計が二、〇一八貫で、一貫（三・七五kg）当たり一〇円の山手金が課され、総額は二〇、一八〇円です。このほかに乾燥木代が一、三三六円、二七名分の権利金が一人当たり二〇〇円で計五、四〇〇円、他区入山者山手金が二〇、〇〇〇円、特別山手金が三、〇〇〇円、これらの合計が五六、九三〇円です。乾燥木代とは、ゼンマイ小屋の資材やゼンマイの乾燥用の燃料として用いる木材（立木）の払い下げを受け、その代金を国有林に

対して支払うために徴収しているものです。権利金とは、ゼンマイ小屋の敷地を国有林から賃借するために支払う代金で、これを支払っている二七名が泊まり山でのゼンマイ採取を行っていたことが分かります。

資料では続いて、昭和四十一年の住民各戸のゼンマイ採取量や支払った山手金の金額が一覧で記載されています。泊まり山の入山者で採取量もつとも多い者は一七〇貫、山手金総額は二、二三四円です。この時期のゼンマイは貫当たり三、五〇〇円でしたので、この人のゼンマイ販売収入は五九万五千円にほります。この時期の地方公務員の平均月収は七万円ほどでしたので、月収の九カ月分に迫る額を二か月間で稼いだことになりまふ。また、通い山の入山者数は計二五名で、泊まり山と合わせると計五二名が山手金を支払ったことが分かります。同じ年に叶津区に対して区費を収めた世帯は五六世帯でしたから、実に九割を超える世帯がゼンマイ採りを行っていたことになりまふ。

町民文芸



只見短歌会

三月詠草

大塚栄一

指導

雪祭り老いし我など用なしがかすか聞こゆる花火に立ちぬ

馬場 八智

関谷登美子

春光に輝きてゐる福寿草今年も愛でし幸を思ふも

新国由紀子

心臓弱き母の寢息に違ひあり身体起こして暫し見つむる

目黒 富子

診察を待つ間の我も何時の日か世話にならむか医療器具見つむ

渡部ゆき子

年ごとに薬の数のみ増え行けど歳よわいに勝てずや身は衰えぬ

渡部ヨリ子

忙しく立ちてコーヒー飲むわれが日課となりて心安らぐ

新国 洋子

スーパーより帰り来し娘は雪降りて野菜が高きと買い物少なし

(出詠順)

只見俳句会

四月定例会

目黒十一

指導

村に響く雪わり街道開く報せ

弘子

春服はためらい捨ててさくら色

礼

藁屋根の千の雫の雪解かな

春雪を踏み旅立ちの朝かな

一穂

梨の花ほころぶ頃よ味噌を搗く

甲子トンネル抜けて花々迎えけり

修一

雪間草合格メール届きたり

春浅しオープンカーのなびく髪

吉見

根の国に妻を待たせて桜餅
宮参り桜吹雪の磴のぼる

ぎぼうし汁齒茎鳴らして笑い食ぶ

幸生

つばくらめ先ず泥ふくみ家直しす

信

妖精の舞い降りたる北の春

一杯のコーヒーで語らう春の午後

都

彼岸寒素足のままの子等元気

行き交うは春のみぞれの傘重し

味代子

初物よ両手一ぱいの露の臺

彼岸会や母の字のある朱印帳



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

5月27日までに
納めましょう

- 軽自動車税(全期)
- 農集排使用料(5月分)

試験

只見町職員(大学卒程度・行政職・土木職・建築職)・(短大卒程度・看護師)・(資格免許職・保健師)採用候補者試験を行います

令和2年度只見町職員(大学卒程度)・(短大卒程度)・(資格免許職)採用候補者試験を行います。

一、試験職種及び採用予定人員

- 行政職 若干名
- 土木職 若干名
- 建築職 若干名
- 看護師 若干名
- 保健師 若干名

二、受験資格(学歴不問)

【行政職・土木職・建築職】

昭和59年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた者

【保健師】

昭和59年4月2日以降に生まれた者で、保健師の免許を有するか令和2年3月末までに取得見込みの者

【看護師】

昭和44年4月2日以降に生まれた者で、看護師の免許を有するか令和2年3月末までに取得見込みの者

三、試験の方法

行政職・土木職・建築職の教養試験は大学卒程度、看護師は短大卒程度、保健師は資格免許職試験で次により行います。

▽第一次試験

教養試験(行政職・土木職・建築職・看護師・保健師)、専門試験(行政職・土木職・建築職・保健師)、事務適性検査、看護師適性検査(看護師)、一般性格診断検査、職場適応性

検査

▽第二次試験(二次試験合格者)

小論文、面接による試験を行います。

四、第一次試験の日時、場所

▽日時

令和元年7月28日(日)
午前9時受付〜午後4時50分

▽場所

福島大学
(福島市金谷川一帯)

五、発表

役場掲示板に合格者番号を掲示するほか、本人に通知します。

六、採用

合格者は採用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を決定する。(この合格の有効期間は一年間です)

七、受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は役場総務課及び朝日、明和振興センターで交付します。

▽申込方法

申込用紙は役場総務課に提出する。(郵送による場合は返信用封筒を同封すること)

▽受付期間

令和元年5月23日から6月21日まで(郵送による場合は、6月19日までの消印のあるものに限り)

八、その他

▽詳しくは、役場総務課総務係までお問い合わせ下さい。

▽一般行政職(高校卒程度)・

看護師の募集については、7月上旬を予定しております。

●問合せ先

▽只見町役場総務課
☎024118215210

お知らせ

聴覚障がいを持つ乳幼児の子育て支援について

聴覚支援学校会津校では、聴覚障がいを持つ乳幼児の子育て支援「みみちゃん教室」を実施しております。お子様(0歳児から可)の様子や相談内容に応じ、一緒に遊びながら言葉やコミュニケーションづくりのお手伝いをします。

●日時

月々金
午前9時〜午後4時30分

●場所

聴覚支援学校会津校内
「みみらんど・會津」

●費用

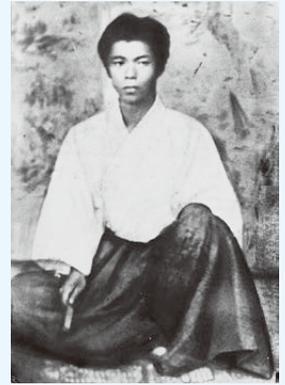
無料

●問合せ先

☎024212211286
(聴覚支援学校会津校教頭)

実はここ只見町にもゆかり 新紙幣の肖像画になる偉人と 只見町の関わり

4月上旬、紙幣刷新が発表になりましたが、新紙幣の肖像画に採用される3人はここ只見町とも関わりがありました。1万円札の「近代日本経済の父」渋沢栄一は、後に日銀大阪支店長となる外山脩造の大阪派遣を推薦した人物です。外山脩造と言えば、河井継之助と行動を共にし、継之助が死の間際に「商人になりなさい」と諭した人物として知っておられる方も多いのではないのでしょうか。5千円札の津田梅子は、山川捨松とともに米国留学した日本初の女子留学生ですが、捨松は、只見町も戦場となった戊辰戦争時の会津藩家老山川大蔵の妹にあたります。千円札の細菌学者・北里柴三郎を学祖と仰ぐ北里大学は、2003年まで町朝日診療所に医師を派遣していました。新紙幣の発行は数年後になるようですが、こうしたゆかりある部分を知ると、より親近感が湧いてきますね。



▲大阪に派遣された頃の外山脩造(河井継之助記念館蔵)

1万円札



渋沢 栄一

- 500程の会社の設立に携わり、「近代日本経済の父」と言われる。
- 大阪の銀行を立て直す人物として、外山を推薦した。(外山は日銀大阪支店長を経て、阪神電鉄を創設、タイガースの名前の由来になったとも言われる)

5千円札



津田 梅子

- 日本初の女子留学生であり、帰国後に「女子英学塾」(津田塾大の前身)を創立。
- 会津藩家老山川大蔵の妹である捨松と共に留学をする等、親交があった。

千円札



北里 柴三郎

- 細菌学者であり、自身が所長を務める研究所には野口英世が勤務していた。
- 北里柴三郎を学祖と仰ぐ北里大学は、昔、町下に北里大只見実習所があり、その関係で町朝日診療所に2003年まで医師を派遣。

※上記に関しては諸説があります。

町長スケジュール (4月分)

- | | | |
|-----|---|--|
| 1日 | 町職員辞令交付式、定例庁議、定期路線ワゴン自然首都・只見号出発式
町小中学校教職員着任あいさつ | |
| 3日 | (株)季の郷湯ら里臨時取締役会、南会津建設事務所長着任あいさつ | |
| 4日 | 町内駐在所職員着任あいさつ | |
| 5日 | 只見町建設業協会役員新年度あいさつ、ユネスコエコパーク連絡調整会議、ティーエヌアイ工業(株)社長就任あいさつ、政策調整会議 | |
| 8日 | 朝日小学校入学式、只見中学校入学式、山村教育留学生対面式 | |
| 10日 | 会津総合開発協議会役員会(会津若松市) | |
| 12日 | 長岡国道事務所長着任あいさつ、阿賀川河川事務所長着任あいさつ
只見特産(株)社長、JA会津よつば専務、常務来庁 | |
| 13日 | 会津美里町役場庁舎及び複合文化施設落成式(会津美里町) | |
| 14日 | 春待ちチャリティ演芸会 | |
| 15日 | 只見町納税貯蓄組合連合会総会 | |
| 17日 | 政策調整会議、臨時庁議、(株)季の郷湯ら里臨時取締役会 | |
| 18日 | 三条市・只見町八十里越道路暫定的活用検討懇談会(三条市) | |
| 19日 | 福島県生活環境部政策監来庁 | |
| 20日 | JR只見線愛好会定期総会(魚沼市) | |
| 21日 | 陸上自衛隊郡山駐屯地創立66周年記念行事(郡山市) | |
| 23日 | 郡山国道事務所長着任あいさつ
会津中央病院理事長表敬訪問 | |
| 24日 | ユネスコエコパーク活動支援補助金報告会及び説明会 | |
| 25日 | 只見町森林組合通常総代会、南会津振興局長来庁、町政報告会 | |
| 26日 | 会津総合開発協議会南会津地方部会定例総会、会津・野岩鉄道利用促進協議会総会、会津総合開発協議会定例総会(会津若松市) | |
| 27日 | 国道252号六十里越雪わり街道「只見-魚沼間」再開通記念式典 | |
| 28日 | 只見町消防団春季消防検閲式 | |

町民の消息

(3月26日～4月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

堀金威風 (男/薫・真希)	小林
佐野結英 (女/英則・結麻)	樋戸
佐野英茉 (女/英則・結麻)	樋戸

■ご結婚おめでとうございます

舘ノ川 目黒 茂夫♡横山 愛香 埼玉県

■おくやみ申し上げます

菅家良介	74歳	黒谷
目黒多世子	92歳	黒谷
赤塚亨	87歳	長浜
三瓶豊一	67歳	倉見
伊藤スミ子	86歳	大只
長谷部スイネ	82歳	叶津
五十嵐イコウ	81歳	長浜
吉津民夫	91歳	黒谷
菅家一徳	78歳	大只
佐藤長次	62歳	倉見

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成31年4月1日現在

人口	4,161 (-47)
男	2,039 (-29)
女	2,122 (-18)
世帯数	1,840 (-23)
高齢化率	46.55%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 24 転出 62 出生 1 死亡 10

▽今月号から担当をさせて頂けていたことになりました橋本です。伝統ある広報ただみの作成という事で大変な重責を感じておりますが、前任の想いを引き継ぎ、分かりやすく、面白い広報誌作成を目標に頑張りますのでよろしく申し上げます。

▽今年4月に入ってもたくさん雪が降り、4月2日の24時間積雪量は、ここ只見町が全国一位を記録しました。各局の全国ニュースで流れる「只見町」の文字を見て、改めて只見町は全国有数の雪国なんだなと実感した年度初めでした。

(橋本)

あとがき

お気軽にご相談ください!

「福島さわやか行政相談キャンペーン」

総務省では、只見町を担当する行政相談委員として、渡部あき子さんを委嘱しております。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱するもので、地域住民の皆さんから国の行政全般に関するご意見・ご要望を受け付け、皆さんと関係行政機関などとの間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。

また、5月中の1ヶ月間は、行政相談について地域住民の皆さんに理解を深めていただくための「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。



渡部 あき子さん

只見町大字福井字久保田204-2

☎84-2252



1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

シュレーゲルアオガエル (学名: *Rhacophoridae schlegelii*)

[アオガエル科 アオガエル属]



▲ ^{かんぼく} 灌木にのぼるシュレーゲルアオガエル



▲ ^{あぜ} 田んぼの畦に産みつけられ泡に包まれた^{らんかい}卵塊

田に水がひかれる只見町の5月、畦に白い泡の塊を見ることがあります。これは、シュレーゲルアオガエルの卵塊です。よく似たモリアオガエルは、同じような泡に包まれた卵塊を水際の樹上に産みつけます。シュレーゲルアオガエルは、目の虹彩が黄色あるいは金色に見えること、体長4～8cmのモリアオガエルと比べて3～5cmと小さいことで区別できます。また、ニホンアマガエルとも似ていますが、目の前後に黒い線がありません。卵は1週間ほどで^{かえ}孵り、幼生(オタマジャクシ)は雨水などで泡と共に水中に流れ落ちます。変態した成体(カエル)が上陸するのは6～8月頃です。水辺にいるイメージのあるカエル類ですが、繁殖期以外の成体は樹林に生息する場合も多く、シュレーゲルアオガエルも灌木や草の上でくらし、冬は湿った浅い土の中で冬眠します。つまり、一年を通すと、水辺だけでなく、それに隣接する樹林、湿った土のある環境が必要で、只見町にはこの条件を満たす場所が豊富にあります。

只見町では、シュレーゲルアオガエルとモリアオガエルは区別されず「アオビッキ」や「セングーガエル」と呼ばれています。両種とも只見町の「町指定貴重野生動物種」に指定されており、成体・幼生・卵はいずれも採集しないよう呼びかけています。

特別企画展

「植物学者・河野昭一の世界～その生涯と只見」

期間：開催中(9月2日(月)まで)

会場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

お問い合わせはブナセンターまで ☎0241-72-8355

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください